



# 橋北中学校だより

令和7年10月20日(月)

第7号 文責:奥田

津市立橋北中学校

## 気づき・考え・行動する人へ

本校では、「豊かなかわりあいの中で、仲間とともに学びあう生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、日々の授業はもちろん、生徒会活動や部活動、日常生活の中でも「気づき・考え・行動する」力を育むことを大切にしています。

昨年度より、総合的な学習の時間では、体験活動を通して多様な人々と出会い、課題に気づき、考え、発表・発信し、行動へとつなげる探究学習を進めています。

1年生は春に三重県総合博物館(MieMu)を訪れ、三重県や津市の課題について考える機会を持ちました。さらに先日、防災・環境・福祉・交通・観光の5つのテーマに分かれ、県や専門機関から講師を招いて学びを深め、「問い」を見つける活動に取り組みました。



2年生は昨年に続き、白山町上ノ村での稲作体験を通して、自分たちの町をより良くしようと活動する人々と出会い、地域へのまなざしを育みながら探究を進めています。(余談ではありますが、今年も収穫したお米を文化祭で販売したいと考えています。)

3年生は修学旅行で沖縄を訪れ、三重県津市とは異なる環境・風土・文化に出会い、地域に引き戻した探究的な学びを深めています。

その中で、沖縄の美しい海に感動した生徒たちが「自分たちの町の海岸もきれいにしたい」と考え、海岸清掃を企画しました。3人の生徒が中心となり、同学年や下級生にも声をかけ、海岸保全活動を行う「ウミガメネットワーク」の米川さんとも連絡を取り、30人以上が参加する活動へと広がりました。



活動時間は1時間ほどでしたが、事前準備では多方面への連絡、安全な移動方法の検討、当日の進行計画など、すべてを自分たちで考え、見事に清掃活動をやり遂げました。

一つの行動を起こすには、どんな手順が必要で、どんな苦労があるのか。そして、やり遂げたときの達成感や充実感。それらを、生徒たちは実体験を通して学びました。教科書では学べない、点数では測れない、かけがえのない学びが、そこには確かにありました。

先日、3年生の生徒が校長室を訪れました。昨年度の3年生が広島での修学旅行を通して平和について探究を進めたことを受け継ぎ、自分たちが沖縄で学んだ沖縄戦やひめゆり学徒隊のことを、下級生にも伝えたいという思いから、ポスターを作製したとのことでした。

このような取り組みは、学びを「自分のもの」にするだけでなく、「誰かに届ける」ことでさらに深

まっています。ポスターは校内に掲示するとともに、学校だよりやホームページでも紹介し、多くの  
人にその思いを届けていきたいと思ひます。



沖縄戦に動員されたひめゆり学徒隊について調べ、自分たちに平和のためにできることは何かを考えました。そこで、ポスターを作り、皆さんが平和について考えるきっかけをつくることにしました。

ひめゆり学徒隊は、沖縄戦で日本軍の看護要員として動員された女子学生のことです。年齢は15歳から19歳で私たち中学生と近い年齢でした。

とても小さな行動でも、積み重ねれば大きな平和へとつながっていくので、平和のために自分ができることはないかを考えてほしいです。

このポスターが家族と平和について話し合い、考えるきっかけになると良いなと思ひます。この探究活動を通して、平和というものがいかに大切でかけがえのないものかということ改めて感じました。

また、「津市を盛り上げること！」をテーマに、地域の課題に目を向けながら探究的な学びに取り組むグループがあります。大門地区の老舗や新しいお店を紹介するマップを作成し、文化祭当日にご来場いただいた3年生の保護者の皆様へ配付することを目指しています。地域の魅力を再発見し、発信することで、津市への愛着や関心を高めるきっかけになればと、生徒たちは意欲的に活動しています。



ここで紹介したのはほんの一例ですが、各学年がそれぞれのテーマや問いをもって探究を進めています。その過程では、思うように進まないことも多く、試行錯誤の連続です。しかし、壁にぶつかるたびに新たな自分に気づき、仲間と協力しながら乗り越えていく姿には、大きな成長が感じられます。

一つのことを成し遂げるには、計画、調整、実行といった多くの力が必要です。こうした経験が、生徒たちの「生きる力」となり、卒業後の学びや社会での実践につながっていくことを願っています。

文化祭ではコーラスコンクールだけでなく、2、3年生が進めている探究学習の発表も計画しています。また、2年生が収穫したお米の販売も行います。お時間が許す限り、ご参観ください。